

青森県知事 殿

田舎館村長

品川新一

## 強い農業・担い手づくり総合支援交付金の事業実施に関する改善計画について

令和3年度において実施した強い農業・担い手づくり総合支援交付金について、地域担い手育成支援タイプ支援計成果目標の達成等が図られるよう、下記の改善計画を実施することとするので報告します。

## 記

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度
青森県	田舎館村	北	令和3年度	令和5年度

## I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

No.	対象経営体名	成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
1		付加価値額の拡大	主食用米の販売価格が上がったことにより収入は増加したものの、肥料や農薬、燃料費等の価格高騰で経費が増加したこともあり、目標に達しなかった。	今後も農業資材の価格高騰が予想されるため、経営コストの削減を今まで以上に進める必要がある。 関係機関と連携しながら、コスト削減に直結する生産技術の指導を仰ぎ、導入機械の効率的な使用を実施する。 また、他の経営体や先進地のコスト低減事例の情報収集等を積極的に行い、さらに成果目標の確実な達成を図るため、農業経営相談所等の支援機関に登録されている中小企業診断士、税理士、経営コンサルタント等の専門家などを活用し、農閑期に重点的な指導を実施し、5年度目に目標を達成できるよう取り組む。

## II 地区の成果目標ごとの未達成理由等

成果目標項目	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
付加価値額の拡大	収入面では主食用米の価格上昇により増加が見られたものの、農業資材の価格高騰によって経費が膨らみ、目標値を下回る結果となった。	農業資材の価格高騰に対応するため、関係機関や専門家と連携し、生産技術や事例を活用してコスト削減を進め、目標達成を目指す。

## III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

1	担い手への農地利用集積について 農地中間管理機構の活用等による利用集積を促進することとし、担い手の高齢化や後継者不足に対応するため、集落営農組織の育成の他、若い大規模農家を強化することとする。
2	必要となる中心経営体の育成について 高齢化による後継者不足が問題となっているため、担い手として経営改善状況等を引き続きフォローアップしていくことが必要である。集落営農の組織化等も含めた中心経営体の育成、確保に向けて検討を行っていくこととする。
3	地域計画の策定・見直し等について 令和7年3月31日に策定した地域計画は村内全地区を公表しているが、今後も必要に応じ見直しを実施するとともに、地区での話し合いやアンケート調査の実施並びに地図化により、認定農業者を中心とした担い手による農地の集約・集積に努める。
4	未達成者への対応等について 構造政策を効果的に推進するため、未達成者に対するフォローアップを引き続き実施するとともに、今後の支援の在り方について村全体の担い手の育成・確保状況やこれまでの活動状況等を踏まえ、地区の関係者・JA・農業普及振興室等の関係者と定期的な情報交換を検討する。

## 〔記入要領〕

- Iの「目標未達成となった主な理由等」欄については、経営体の成果目標の項目ごとに主な理由を記入する。  
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄については、これまでの達成状況等の推移を踏まえ、具体的な改善措置の内容、目標達成の見込みとその時期について記入する。  
なお、必須目標の達成状況が80%未満である助成対象者については、専門家等を活用した重点的な指導の内容を記入すること。
- IIの「未達成理由の総括」欄については、地区の成果目標ごとに、未達成理由を総括的に整理する。  
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄についても、地区の成果目標ごとに具体的な改善措置の内容、目標達成の見込みとその時期について総括的に記入する。
- IIIについては、IIで整理した地区の成果目標未達成理由等を考慮の上で、①地区内の担い手への農地利用集積状況や出し手・受け手の現状等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、②地域が必要とする担い手と地域内での役割分担の状況等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、③人・農地プランと現状との乖離状況等を踏まえた具体的な対応策等、④未達成者への今後の対応その他の課題と対策について記入する。